

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者及び教科書の番号

地域資源活用		冊数	1冊
発行者の略称・教科書の番号	実教720		

2 学習指導要領における教科・科目の目標等

【農業の目標】

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業や農業関連産業を通じ、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

【地域資源活用の目標】

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、地域資源の活用に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 地域資源の活用について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 地域資源の活用に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 地域資源の活用について新たな価値の創造に寄与できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

【地域資源活用の内容及び内容の取扱い】

「内容」の概要	「内容の取扱い」抜粋
(1)「地域資源活用」とプロジェクト学習 ア 地域資源活用に関するプロジェクト学習の意義 イ プロジェクト学習の進め方 (2)農山村社会の変化と地域振興 ア 農山村社会の現状と変化 イ 地域活性化に向けた施策・取組 (3)地域資源活用の意義と役割 ア 地域資源の魅力と価値 イ 地域振興に向けた施策・取組 ウ 異業種連携と商品価値の創造 エ 地域資源活用の実践と課題 オ 情報の活用と発信 (4)地域資源の価値と活用 ア 観光への活用 イ 商品開発への活用 ウ サービス業への活用 エ 教育・福祉への活用 (5)地域と連携した活動 ア 地域資源のマーケティングとブランドづくり イ 地域資源を活用したサービス ウ 農業のユニバーサルデザイン化 エ 地域振興活動と評価	(1)地域資源の活用や地域振興について身近な事例を通して理解できるよう留意して指導すること。また、プロジェクト学習では見学や実験・実習を通して、科学的かつ創造的に学習を進め、地域資源の活用に関する実践力が身に付くようにすること。なお、地域の実態や学科の特色等に応じて、適切な題材を選定すること。 (2)「地域資源活用」とプロジェクト学習については、科目学習の導入として扱うこと。また、地域資源活用の実践については、「地域資源活用」とプロジェクト学習を踏まえ、農山村社会の変化と地域振興から地域と連携した活動までと並行して、又はそれらを学習した後に扱うこと。 (3)「地域資源活用」とプロジェクト学習については、農業科に属する他の科目と関連付けながら科目全体で科学的かつ創造的に学習を進めるように扱うこと。 (4)農山村社会の変化と地域振興については、農山村と都市の現状を考察し、それらに合わせた異業種との連携及びそこから生み出される地域資源の活用について扱うこと。 (5)地域資源活用の意義と役割については、国内外の地域資源活用に関する取組について取り上げ、生徒自らが身近な地域資源を理解し、その活用を実践できるように扱うこと。

(6) 地域資源活用の実践	<p>(6) 地域資源の価値と活用及び地域と連携した活動については、地域調査から地域の価値を見だし、魅力を伝える取組についてプロジェクト学習を通して扱うこと。</p> <p>(7) 地域資源の価値と活用及び地域と連携した活動については、地域調査から地域の価値を見だし、魅力を伝える取組についてプロジェクト学習を通して扱うこと。</p> <p>(8) 地域と連携した活動については、地域資源の活用におけるユニバーサルデザイン化及び地域振興活動の指標を定める評価方法について基礎的な内容を扱うこと。</p> <p>(9) 地域資源活用の実践については、地域資源の活用に関する実践的な活動を行うこと。なお、起業や六次産業化に関わる内容についても扱うこと。</p>
---------------	--

3 教科書の調査研究

(1) 内容

ア 調査研究の総括表

調 査 項 目		対象の根拠(目標等との関連)
a	単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成(各教科共通)	学習指導要領第3章第1節第3款1(1)
b	農業や農業関連産業と関連付けている内容	学習指導要領第3章第1節第2款第30 2
	その他の項目(各教科共通)	学習指導要領、東京都教育委員会の基本方針、東京都教育ビジョン

イ 調査項目の具体的な内容

① 調査項目の具体的な内容の対象とした事項

調査研究事項の a、b 及びその他の項目との関連で、次の事項について具体的に調査研究する。

- a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成(各教科共通)
 - ・ 単元など内容や時間のまとまりを見通して、農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける場面について見取る。
- b 農業や農業関連産業と関連付けている内容
 - ・ 農業や農業関連産業を通じ、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人について設定している場面を見取る。

《その他の項目》(各教科共通)

- ・ 我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫
- ・ 人権課題(同和問題、北朝鮮による拉致問題等)に関する特徴や工夫
- ・ 安全・防災や自然災害の扱い
- ・ オリンピック、パラリンピックに関する特徴や工夫
- ・ 固定的な性別役割分担意識に関する記述等

② 調査対象事項を設定した理由等

- a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成(各教科共通)
 - ・ 学習指導要領の中に、「単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成について」が言及されているので、地域資源活用では、安定的な食料生産と環境保全及び資源活用の視点で捉え、持続可能で創造的な農業や地域振興と関連付けるなどの実践的・体験的な学習活動がどのように設定されているかという視点で質的な調査をする。
- b 農業や農業関連産業と関連付けている内容
 - ・ 学習指導要領の中に、「地域や産業界、農業関連機関等との連携・交流を通じた実践的な学習活動や就業体験活動を積極的に取り入れるとともに、社会人講師を積極的に活用するなどの工夫

に努める」とされている。このことから、農業や農業関連産業と関連付けている内容はどのように設定されているかという視点で質的な調査をする。

《その他の項目》(各教科共通)

- ・ 我が国の領域をめぐる問題及び国旗・国歌の取扱いについては、学習指導要領に基づき、これらの問題を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- ・ 北朝鮮による拉致問題については、東京都教育委員会の基本方針1に基づき、人権尊重の理念を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- ・ 東京都では、自然災害時における被害を最小化し、首都機能の迅速な復旧を図る総合的なリスクマネジメント方策の確立が喫緊の課題であり、防災教育の普及等により地域の防災力の向上が重要であることから、防災や自然災害の扱いについて調査する。
- ・ 東京都教育委員会の基本方針2・3に基づき、文化・スポーツに親しみ、国際社会に貢献できる日本人を育成するという観点から、オリンピック・パラリンピックの扱いについて調査する。
- ・ 東京都教育委員会の基本方針1及び東京都の男女平等参画推進の施策を踏まえ、固定的な性別役割分担意識の解消や、「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)」に気付いて言動等を見直していくなど、男女の平等を重んずる態度を養うことができるよう、その扱いについて調査する。

(2) 構成上の工夫(各教科共通)

- ・ デジタルコンテンツの扱い
- ・ ユニバーサルデザインの視点

教科名	農業
科目名	地域資源活用

※「教科書番号」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示す。

発行者（略称）	実教
教科書番号	農業720◆
教科書名	地域資源活用
(1) 内容	
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
(1) 「地域資源活用」とプロジェクト学習	・「地域資源活用とプロジェクト学習」の単元で、「調べてみよう」など調査・発表する活動を取り入れることで、他校のプロジェクトの取組を共有するなど、題材の理解が深まるよう工夫されている。
(2) 農山村社会の変化と地域振興	・「農山村と都市の現状と変化」「地域活性化に向けた施策・取組」の単元で、「調べてみよう」など調査・発表する活動を取り入れることで、開発された地名や地域再生のグラウンドワークについて、理解が深まるよう工夫されている。
(3) 地域資源活用の意義と役割	・「情報の活用と発信」の単元で、「話題」「実習」など調査・検討・発表する活動を取り入れることで、世界農業遺産や地域資源に関するマーケット情報について、理解が深まるよう工夫されている。
(4) 地域資源の価値と活用	・「商品開発への活用」の単元で、「調べてみよう」「考えてみよう」など調査・検討・発表する活動を取り入れることで、地域の在来種保護や遺伝資源の保護、地域在来の発酵食品について、理解が深まるよう工夫されている。
(5) 地域と連携した活動	・「農業のユニバーサルデザイン化」の単元で、「調べてみよう」「考えてみよう」など調査・実践・発表する活動を取り入れることで、農業とICT・ロボット技術の融合や農業の標準化、3S活動について、理解が深まるよう工夫されている。
(6) 地域資源活用の実践	・「地域資源活用の企画と実践」の単元で、「実習」「やってみよう」など調査・実践・発表する活動を取り入れることで、成果指標の明確化やプログラムの理解、作業工程の分析などについて、理解が深まるよう工夫されている。
b 農業や農業関連産業と関連付けている内容	
(1) 「地域資源活用」とプロジェクト学習	・「地域資源とその活用」の単元において、農村ビジネスの実例を挙げながら、農山村の地域資源の発掘や新たな利用価値の生成について記載されている。
(2) 農山村社会の変化と地域振興	・「農山村と都市の現状と変化」「地域活性化に向けた施策・取組」の単元において、食・エネルギーや訪問・体験・休養型、移住・定住型、農福連携など、農山村と都市の共生・連携について多様な連携内容が記載されている。
(3) 地域資源活用の意義と役割	・「異業種連携と商品価値の創造」の単元において、医療や教育、福祉、エネルギー、情報通信産業など、異業種と連携したソーシャルビジネスの実践について記載されている。
(4) 地域資源の価値と活用	・「観光への活用」「サービス業への活用」の単元において、グリーンツーリズムや農家民宿・農家民泊、直売所・農家レストランの運営など、観光への活用やサービス業への活用に関して記載されている。
(5) 地域と連携した活動	・「農業のユニバーサルデザイン化」の単元において、年齢や性別に関わらず、農業に対して快適に従事するための農業機械や農具、作業環境、栽培方法など、農業のユニバーサルデザイン化を図る活動について記載されている。
(6) 地域資源活用の実践	・「高校生による実践例」の単元において、地域資源活用のプログラムを企画、実践するに当たって、高校生による実践例が記載されている。
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	・「農山村の景観、文化と人」 ・巻頭、巻末の写真やコラムで、世界の自然や景観、我が国の地域資源や伝統文化について示している。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	・「農業のユニバーサルデザイン化」
安全・防災や自然災害の扱い	・災害時における「共助」やコミュニティによる相互扶助の仕組み
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	記載なし
ユニバーサルデザインの視点	・全般にわたって見やすいユニバーサルデザインフォントを使用している。